

本牧まち歩きツアー 2 本牧の外国人遊歩道

昨年に続き 2 度目の本牧ツアーでは、幕末に外国人遊歩道が造られた場所を辿りながら、JR 石川町駅から妙香寺や十二天緑地を經由して本牧山頂公園観山広場まで歩きました。かつて存在したビール工場、上台市場、チャブ屋、暗渠になる前の千代崎川などの痕跡が、まち並みの変遷を感じさせました。



1. 石川町から山手第2トンネルを通して本牧方面へ。明治44年に横浜電気鉄道の本牧線が開通したときは本牧隧道と呼ばれる市電専用のトンネルでした。



2. トンネルの上には桜道。明治期にW・H・スミスが桜を植えました。今は残っていません。



3. 妙香寺にて。「名勝史蹟四十五集 選當選記念 国歌君ヶ代發祥之地 横浜貿易新報社」の石碑の裏は？



4. キリン園公園の「麒麟麦酒開源記念碑」。漢字カナ交じり文ですがこの日見た石碑のなかでは読みやすい方だったかも。



5. 千代崎川が暗渠になる前に使われていた橋の親柱。「千代崎川とその橋の歴史」を読む。



6. 中本牧コミュニティハウスで長沢博幸さんから「本牧の定説を疑え」と題するご講演。



7. ワシン坂の湧水。水温は夏冷たく冬温かい。ワシン坂の地名の由来が気になります。



8. 本牧十二天緑地。本牧神社はもともこの場所にあつて、埋め立て前は海が目の前でした。



9. 本牧山頂公園の観山広場。日本画家の下村観山は大正2年に原三溪の援助を受けて、この本牧和田山にアトリエを構えました。現在は澄川喜一作の石碑が建っています。